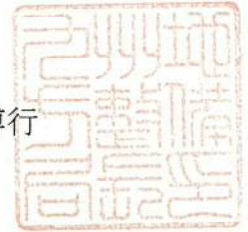


国九整企画第 147 号
平成 30 年 2 月 22 日

北九州市長 北橋 健治 様

国土交通省 九州地方整備局長

増田 博行



直轄事業の事業計画等(北九州市関連分)について(通知)

平素から国土交通省直轄事業の推進にあたり、ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、当局における、平成30年度政府予算案に関する地方負担を求める事業計画等のうち北九州市関連分について、別紙のとおり通知します。

平成30年度 北九州市における事業計画(H30年2月)(道路関係〔直轄〕)

改築事業(幹線道路ネットワーク整備)

(単位:百万円)

路線名	箇所名	事業規模	全体事業費 (億円)	H29年度当初		H29年度事業内容	H30年度予定事業内容	H30年度事業進捗見込み	備 考
				事業費	負担金				
国道3号	黒崎バイパス	L=5.8km	840	1,350	450	・調査設計 ・用地買収、用地補償 ・橋梁下部工・上部工	・<調査設計> ・<用地補償> ・改良工、<橋梁下部工>、橋梁上部工	7~24億円程度	春の町ランプ~尾倉ランプ L=0.6km(2/2) 開通時期については、完成に向けた円滑な事業実施環境が整った段階で確定予定 黒崎西ランプ 開通時期については、完成に向けた円滑な事業実施環境が整った段階で確定予定 陣原ONランプ 開通時期については、完成に向けた円滑な事業実施環境が整った段階で確定予定
計				1,350	450				残事業費:約100億円

(注)合計は四捨五入の関係で合致していない場合がある

(注)H30年度予定事業内容のうち< >書きは、上限値に近い事業費を配分する場合に実施するものである

(注)備考欄の残事業費は、平成29年度補正投入時点である

(注)備考欄の開通予定については、事業進捗等により今後、変更する場合がある

(注)今後、新規事業箇所を追加する場合がある

平成30年度 北九州市における事業計画(H30年2月) (道路関係〔直轄〕)

(単位:百万円)

箇所名等		事業規模	全体事業費 (億円)	H29年度当初		H29年度事業内容	H30年度予定事業内容	H30年度事業進捗見込み	備考
				事業費	負担金				
交通安全事業 (Ⅰ種)	国道10号	—	—	132	44	調査設計、工事	—	0.9~3億円程度	—
交通安全事業 (Ⅱ種)	国道2号 国道3号 国道10号	—	—	42	21	防護柵、区画線、視線誘導標	区画線		—
共同溝事業	—	—	—	—	—	—	—		—
電線共同溝事業	国道3号	L=2.0km	36	524	262	調査設計、本体工事、引込連系管路工事、連系設備工事、路面復旧工事	調査設計、引込連系管路工事、連系設備工事、路面復旧工事		—
合 計				698	327				

(注)合計は四捨五入の関係で合致していない場合がある。

(注)今後、新規事業箇所を追加する場合がある。

平成30年度 北九州市における事業計画(H30.2)(港湾関係[直轄])

港湾整備事業

港名	プロジェクト名	全体事業費 (億円)	平成29年度当初 (百万円)		平成29年度 事業内容	平成30年度予定 事業内容(注)	平成30年度 事業進捗見込 (注)	備考
			負担基本額	負担額				
北九州港	北九州港新門司地区複合一貫 輸送ターミナル整備事業	299	840	378	航路(-10m)、泊地(-10m)	航路(-10m)、泊地(-10m)	- ~ 25億円程度	H30年代後半完成予定 ※完成に向けた円滑な事業実施環境が 整った段階で確定予定
北九州港	北九州港予防保全事業	51	1,080	540	航路・泊地(-10m)	岸壁(-11m)(改良)	- ~ 4億円程度	H30年代前半完成予定 ※完成に向けた円滑な事業実施環境が 整った段階で確定予定
計			1,920	918				

(注)H30年度予定事業内容及び事業進捗見込については、検討中のものであり、今後変更される可能性があります。

※「事業実施環境」とは、漁業補償の締結、公有水面埋立免許の取得、用地取得の完了、土砂処分場の確保後等といった、事業を進捗させる上で不可欠な環境のことです。

※今後、事業箇所を追加する場合があります。